

## 有田陶器市の失策

私たちの通う有田工業高校がある有田町は、ゴールデンウィークに、有田陶器市という、全国規模の催し物が開かれます。小さな焼きものの町も、その日ばかりは人であふれ、いつもの静けさが思い出せないくらい賑わいます。

そういうわけで、常設トイレでは間に合うはずもなく、仮設トイレが設置されるのですが……。

## めっちゃくさーでこまりんこ

右の写真をご覧ください。これが、その時に設置される仮設トイレです。写真はまだ使われていませんが、実際の

仮設トイレは、とてもお見せ出来るような代物ではありません。一日に数百人もの人がこのトイレを使用するのでトイレトロールがあるわけがなく、各々が自前のポ



仮設トイレの写真

ケットティッシュを使い、その残骸とも言えるビニールが、便器の周りに散らばっています。また、通気口はあるのですが、それでも熱・臭いがかもりやすく、とても用を足せる環境ではありません。今まで論議されることもなく、当然のように設置されるのが不思議なくらいの、凄まじい仮設トイレでした。

# 仮設トイレ改善プロジェクト1：問題提起

## Kさんの証言

有田陶器市ではありませんが、有田駅が改築工事中だったときトイレも工事中だったため、仮設トイレが設置されていました。私はある日、どうしてもトイレに行きたくなくて、その仮設トイレを利用しました。

ドアを開けたとたん、ムワッと、夏だったこともあり、かなりクさいものが熱気とともに私の鼻を襲いました。吐き気とクサさで、用をたせる場合じゃなかったの、そのトイレはあきらめて、我慢しました。



体験を語ってくれたKさん (18)

## Hさんの話

有田陶器市の仮設トイレは、どこも汚いものですが、バイト先の裏にあるトイレは利用者が多いこともあってか、かなりひどい状態でした。まず、においがすごいです。しかし、こればかりはトイレですので、仕方ありません。では何がひどかったのか。それは、糞尿の流出です。

仮設トイレはくみ取り式なので、許容範囲があります。これも、仕方のないことです。が、お昼に一度くみ取っておけば……夕方に溢れることもないでしょうに……。これだけは許せません。



トイレについて語ってくれたHさん (17)

## 解決策はアルプスにあった

寒冷地、スイスのクレインマッターホルンの山頂には、世界的にも珍しいユニークなトイレがあるそうです。山頂は万年雪の世界で、寒さのため水洗トイレが使えないことから、苦肉の策として考え出された非水洗トイレがあります。名付けて腸づめ方式です。あらかじめ便器に長いビニール袋をセットしておき、一人が使うことに足踏み操作によって熱処理で密封パックされる仕組みになっており、それが六十人分つなぐと、まるで腸づめソーセージのようになります。



足踏み操作によって、中のビニールが密封パックされる。

非水洗・無臭・衛生的。こんなにも仮設トイレにびつたりの条件はありません。私たちはこの「アルプス式非水洗トイレ」を、プロジェクトの最終目的である究極の仮設トイレ作りに採用することにしました。

## ベルトコンベアーの可能性

いくら「アルプス式非水洗トイレ」がおわなくても、便器の下にためていたのでは、ビニールの分、許容範囲が狭まります。ただでさえメンテナンスの行き届きにくい仮設トイレです。で、長い間清潔に使いたいものです。そこで、私たちが考えた策が、ベルトコンベアー方式です。ベルトコンベアーの動力源は、アルプス式非水洗トイレの足踏み操作です。その力で、ベルトを十五センチほど動か

# 仮設トイレ改善プロジェクト2：提案

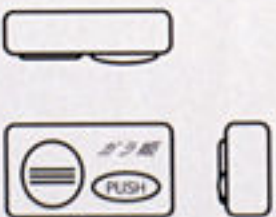
ベルトコンベアーについては、三枚目の図をご覧ください。

## 女性の悩みも一気に解決

女性は、小用時の音が気になるので、水洗の場合、音消し水を流します。最近ではボタンを押すと水の音がする。「音姫」等の商品が開発されていますが、非水洗トイレで音が気になる場合、一体どうすればいいのでしょうか？ 私たちは長い討論の末、一つの音に注目しました。トイレットロールを引っぱるときの、「ガラガラ」という音です。これなら非水洗でも不自然ではありません。

使用方法は、音姫とまったく変わりません。ボタンを押すと、「ガラガラガラ・・・」と音が流れます。

紙巻器音自動発生装置  
開発ネーム「ガラ姫」  
三面図

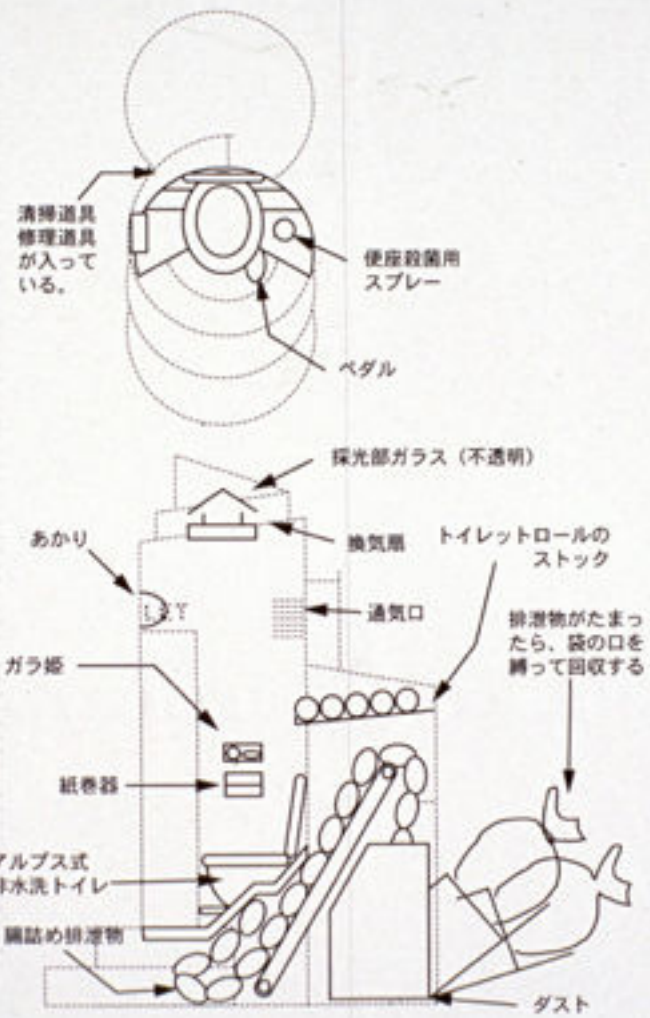
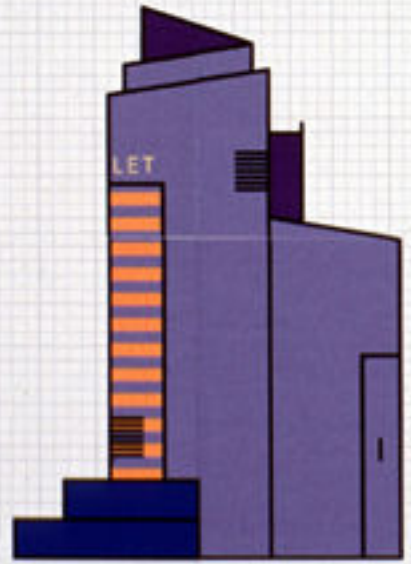


## それとデザインもね

無論、私たちはデザイン科生徒ですから、仮設トイレのデザインにもこだわりました。まだまだ若輩者ですので少々考え直さなければならぬ点があるかも知れませんが、それなりに頑張ったつもりです。

デザインについては、三枚目・四枚目をご覧ください。

# 仮設トイレ改善プロジェクト3 究極の仮設トイレ計画



# 私たちが提案する仮設トイレのメリット

## 1：においがない

このプロジェクトは『仮設トイレのにおいを何とかしたい』ということから始まりました。このアルプス式非水洗トイレは、まだ色々と改良しなければならない点があると思いますが、かなり実用的な提案かと思います。やはり、誰のものともしれない排泄物のにおいは誰しも嫌なものです。

## 2：従来の仮設トイレと比べてデザインが良い



左の絵を見てください。仮設トイレは普通、複数で並んでいます。こうして、たがいちがいの色を並べるのも面白いと思います。又、ドアのデザイン、ノブの色、壁に模様をつける等、色々なデザインを用意し、その場の状況・雰囲気・使用者の好みで選んでもらうといいのではないのでしょうか。

## 3：排泄物の回収がラク

私たちが提案した仮設トイレは、裏側に排泄物回収用ドアがあります。トイレを並べた場合、回収が楽だと考えたからです。このトイレの排泄物は、バキュームカーではなく、荷物用のカートで回収することでほとんど手を使わずに済む想定でデザインしました。

しかし・・・

いくら設備がよく、気持ちよく利用できるようになったとしても、それは、その後使う皆さんによって汚くにも美しくもなるのです。トイレを美しく保つには、マナーを守るという皆さんの当たり前の気持ちが必要であって、最終的には使用者の使い方の問題ではないのでしょうか。